

# 8・30国会前大行動

8月30日に行われた「戦争法案廃案！安倍政権退陣！国会10万人・全国100万人大行動」。国会正門前でスピーチした「SEALDs Kansai」の寺田ともかさん(22)。

大阪から来ました寺田ともかといひます。私たちがいます。要旨を紹介します。



訴える寺田ともかさん  
8月30日、国会正門前

寺田ともかさん(22) 大学4年生 関西シールズ

ま、こみ上げてくる怒りや衝動を肉体的な暴力や一時的な快楽でごまかすことなく、言葉と不断の努力に変えて、ここに集まっています。

安倍首相、私たちの声が聞かれないかと、本当にいてもたってもいられない思いです。すべての命には絶対的な価値があり、私はそれを奪う権利も、奪うことを許す権限も持っていません。

が通ることによって、こういった殺人に日本が積極的に関与していくことになるのではないかと、本当にいてもたってもいられない思いです。70年前、原爆で、空襲で、ガマの中で、あるいは遠い国で、失われていったかけがえない命を取り戻すことができないように、私はこの法案

のために大死にするような法案を絶対的に止めたい。敵に銃口を向け、やられたらやるぞと威嚇するのではなく、そもそも敵をつくらぬ努力をあきらめない国でいたい。平和憲法に根ざした新しい安全保障のあり方を示し続ける国でありたい。

## “国家の名で人の命を消費 そんな未来絶対止めたい”

こえていますか。この国の主権者の声が聞こえていますか。自由と民主主義を求めるひとたちの声が聞こえていますか。人の命を奪う権利を持つことを拒否する人間の声が聞こえていますか。

なぜなら、いくら科学技術が進歩しても私たちは死んだ人を生き返らせることはできないし、奪った命を元に戻すことはできないからです。この法案を許すことは、私にとって自分が責任のとれなことを許す、という事です。それだけは絶対にできま

を認めることによって、これから失われるだろう命に対して責任を負えませんか。私の払った税金が弾薬の提供のために使われ、遠い国の子どもたちが傷つくのだけは絶対に止めたい。人の命を救いたいと自衛隊にはいった友人が国防にすらならないこと

私はこの国に生きる人たちの良識ある判断を信じています。国民の力をもってすれば戦争法案は絶対にとめることができる、と信じます。いつの日か、ここから、今日、一見、絶望的な状況から始まったこの国の民主主義が、人間の尊厳のために立ち上がるすべての人びとを勇気づけ、世界的な戦争放棄にむけてのうねりになることを信じ、2015年8月30日、私は戦争法案に反対します。